# 定例記者会見

令和6年6月5日(水)13時30分

総論〜福岡市医師会活動の振返り等〜 福岡市医師会 会長 平田 泰彦



# 1. 新型コロナウイルス感染症対策(令和2年)

	福岡市医師会の取組み	新型コロナウイルスを巡る主な出来事
令和2年	F(2020)	
1月		・国内で感染者初確認
2月		・福岡市で感染者初確認
4月		・福岡を含む7都府県に「緊急事態宣言」発表。
		その後全国に拡大 第1波
5月	・ドライブスルー方式PCR検査センター	
	<b>「福岡市医師会診療所」</b> 開設	
6月	・「 <b>福岡市医師会診療所」サテライト</b> 設置開始	・新型コロナ接触確認アプリ「COCOA」リリース
7月	· 「第1回新型コロナウイルス感染症対策委員会」開催	・米ファイザーと新型コロナワクチン供給で合意
8月		・全国で1日最多1,595人の感染者 <b>第2波</b>
9月	・ <b>「定例記者会見」</b> 初開催	
	・ <b>「診療・検査医療機関」</b> 登録募集開始	
10月	・新型コロナウイルス感染症対策 <b>「今冬の診療所等における</b>	
	<b>外来診療ガイドライン</b> 」作成	
11月	・「出張PCRセンター」運営開始	
12月	・「 <b>医療施設従業者へのPCR検査事業</b> 」開始	・新型コロナワクチンの接種無料化を柱とする改正予防
	・福岡市急患診療センターにて <b>発熱患者の外来診療体制</b> 整備	接種法成立

※各種報道発表資料等をもとに作成、福岡市医師会医療情報室レポートNo.259より

## 2. 新型コロナウイルス感染症対策(令和3年)

	福岡市医師会の取組み	新型コロナウイルスを巡る主な出来事			
令和3年	令和3年(2021)				
1月	・「高齢者の新型コロナウイルスに係るPCR検査事業」	・1都3県に2度目の「緊急事態宣言」発表。			
	開始	その後、福岡を含む7府県に対象拡大 <b>第3波</b>			
3月	・「新型コロナワクチン予防接種実施説明会」を				
	Live配信で開催				
4月	・新型コロナワクチンの <b>「トライアル接種」</b> 実施	・4都府県に3度目の「緊急事態宣言」発表 その後、福岡を含む6道県に対象拡大 第4波			
	※「ボスミン注1mg」と「携帯酸素ボンベ」を				
	希望の登録医療機関に配付				
5月	・新型コロナワクチンの <b>個別接種開始</b>				
	・集団接種会場への医師派遣開始				
8月	・ <b>自宅療養者への診療</b> 開始	・デルタ株猛威、1日の感染者が初の 2万5,000人超 第5波			
	・12~15歳の新型コロナワクチン接種実施登録				
	医療機関を募集、小児の個別接種体制構築				

※各種報道発表資料等をもとに作成、福岡市医師会医療情報室レポートNo.259より

## 3. 新型コロナウイルス感染症対策(令和4年・令和5年)

	福岡市医師会の取組み	新型コロナウイルスを巡る主な出来事		
令和4年(2022)				
2月	・ <b>「自宅療養の重要ポイント」</b> 作成、	・オミクロン株猛威、1日の感染者が初の10万人超		
	本会一般向けホームページに公開	第6波		
4月	・「第1回 <b>対応力強化WEBセミナー</b> 」開催			
8月		・オミクロン株派生型(BA.5)猛威、1日の感染者が		
		初の26万人超 <b>第7波</b>		
9月		・「全数届出の見直し」を全国一律で開始		
令和5年(2023)				
1月		・新型コロナによる月間死者数が初の1万人超 第8波		
3月		・マスク着用は個人判断の基本方針決定		
	・「5類移行後の外来診療に関する調査」実施、			
4月	<b>外来対応医療機関における好事例集等</b> 公表			
	・「第2回 <b>対応力強化WEBセミナー</b> 」開催			
5月		・感染症法上の位置付けが「2類相当」から		
		「5類」に移行		

※各種報道発表資料等をもとに作成、福岡市医師会医療情報室レポートNo.259より

#### 4.医療現場の迷惑行為対策

#### (1) 医療現場への影響

- ○通常診療への支障
- ○職員の疲弊や離職

#### (2) 本会の取組み

- ○「防犯・安全対策支援事業」の実施
- 迷惑行為対策ポスター作成、会員医療機関宛に配付
- ○「防犯・安全対策支援講演会」の開催
- ○「医療従事者を守る宣言」ポスター作成、 会員医療機関宛に配付
- ※各種保険の加入促進



#### 私達はペイシェント ハラスメントを許しません

医療従事者を守る宣言

福岡市医師会では、厚生労働省「医療現場及び訪問看護におけ る暴力・ハラスメント対策」に基づき、以下の行為に対し会員 医療機関の医療従事者を守ることを宣言します

#### 次の行為はハラスメントに該当します

- 暴力·傷害·威迫·脅迫·威嚇行為
- 侮辱、人格を否定する発言
- 他の者を不快にさせる性的な言動・行為
- プライバシー侵害行為
- 社会通念上過剰なサービス提供の要求
- 合理的理由のない謝罪や処罰の要求
- 電話や居座りによる長時間の拘束行為
- SNSやインターネット上での誹謗中傷

後度を超えた場合は警察に通報します

福岡市医師会

#### 患者等からの迷惑行為の具体例

- ①長時間拘束型 … 長時間にわたる職員拘束
- ②リピート型 … 理不尽な要望の繰り返しの問合せ
- ③暴言型 … 侮辱的発言、人格否定や名誉棄損する発言
- ④暴力型 … 殴る、蹴る、たたく等の行為
- ⑤威嚇・脅迫型 … 脅迫的発言、異常接近行為、脅し
- ⑥権威型 ··· 必要以上の患者様意識による特別扱い要求
- ⑦院外拘束 … 自宅等に呼びつけてのクレーム
- ⑧セクハラ型 … 性的行動、性的発言
- ⑨SNS/インターネット上での誹謗中傷 … ネットトに名誉毀損、プライバシー侵害の情報掲載

#### 5.医療現場の迷惑行為対策

#### 福岡市医師会「防犯・安全対策支援事業」

#### <事業概要>

専用ダイヤル等を通じて医療機関からの要請・相談の申込みを受付け、 専門スタッフと連携して支援を実施

#### <事業開始日>

令和5年9月15日(金)

#### <支援内容・実績>

①電話での状況確認・指導・助言 13件

②ペイシェントハラスメントへの訪問対応および同席 66件

③警備・防犯体制等に関する出前講座の実施 15件

令和6年6月5日時点

#### 6.医療現場の人材不足対策

#### (1) 現状

医療現場では人材不足が深刻化

→ 民間求人サイトや人材紹介会社を利用することも多いが、 高額な紹介手数料や早期離職等の問題が多く見受けられ、 医療機関経営を圧迫

#### (2) 本会の取組み

- ○「有料職業紹介事業者の利用に関するリスクマネジメント研修会」開催
- ○医療機関と就業希望者のマッチングシステムの構築を予定 手数料や定着率、利便性で民間求人サイトと差別化
  - → 市内外求職者の利便性向上



# 求人マッチングプラットフォーム 「一リー」

福岡市医師会監修